

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【公開番号】特開 2019-53303 (P2019-53303A)

【公開日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-013

【出願番号】特願 2018-195027 (P2018-195027)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

C 0 9 B 11/28 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 F 1/1335 5 0 5

C 0 9 B 11/28 C

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 26 日 (2019.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

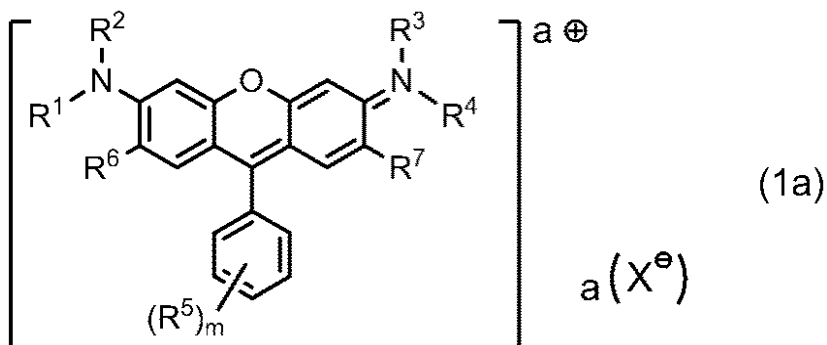
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着色剤、樹脂、重合性化合物及び重合開始剤を含み、

着色剤が、式 (1a) で表される化合物と、黄色顔料、オレンジ色顔料及び赤色顔料からなる群から選ばれる少なくとも 1 種の顔料とを含む着色剤である赤色着色硬化性樹脂組成物。



〔式 (1a) 中、 R^1 、 R^2 は、互いに独立に炭素数 3 ~ 20 の 1 価の飽和炭化水素基を表し、 R^3 、 R^4 は、互いに独立に炭素数 1 ~ 20 の 1 価の飽和炭化水素基を表し、これらの飽和炭化水素基に含まれる水素原子は、炭素数 6 ~ 10 の芳香族炭化水素基又はハロゲン原子で置換されていてもよく、該芳香族炭化水素基に含まれる水素原子は、炭素数 1 ~ 3 のアルコキシ基で置換されていてもよく、前記飽和炭化水素基に含まれる $-\text{CH}_2-$ は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 又は $-\text{NR}^{11}-$ で置き換わっていてもよい。〕

R^5 は、 $-\text{SO}_3^-$ 、 $-\text{SO}_3\text{H}$ 、又は $-\text{SO}_3^- \text{Z}^+$ を表す。

R^6 及び R^7 は、それぞれ独立に、水素原子又は炭素数 1 ~ 6 のアルキル基を表す。

m は、0 ~ 5 の整数を表す。 m が 2 以上のとき、複数の R^5 は同一でも異なってもよい。

a は、0 又は 1 の整数を表す。

X は、ハロゲン原子を表す。

Z^+ は、 $^+N(R^{11})_4$ 、 Na^+ 又は K^+ を表す。

R^{11} は、互いに独立に、水素原子、炭素数 1 ~ 20 の 1 価の飽和炭化水素基又は炭素数 7 ~ 10 のアラルキル基を表す。]

【請求項 2】

顔料が、C . I . ピグメントイエロー 138、C . I . ピグメントイエロー 139、C . I . ピグメントイエロー 150、C . I . ピグメントレッド 177、C . I . ピグメントレッド 242 及び C . I . ピグメントレッド 254 からなる群から選ばれる少なくとも 1 種である請求項 1 記載の赤色着色硬化性樹脂組成物。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の赤色着色硬化性樹脂組成物により形成される赤色カラーフィルタ

【請求項 4】

請求項 3 記載の赤色カラーフィルタを含む表示装置。